

看護部

NICU

今年度は受け入れ在胎週数を32週から30週に、出生体重を1,500 g以上から1,000 g以上に拡大しました。人工呼吸管理を行う機会も増えてきましたが、まだ看護師一人あたりの経験は充分ではなく、4名の看護師が他施設のNICUで研修を受け早産児や低出生体重児、疾患を抱える新生児の看護を学びました。

当院のNICUを近隣のクリニックや助産院にも知ってもらえるようにと、勉強会を企画し参加を呼びかけたところ、多くの方が参加して下さり、いい交流の場を得ることができました。若手の看護師が多い当病棟ですが、たくさんのことを学びたいという意欲があることが強みとなって、初めての疾患や初めての治療でも医師と協力しながら懸命に取り組みました。ここのNICUで良かったとご家族が思ってもらえるような安心・安全な環境作りを目指し、笑顔と丁寧な対応に努めました。朝の申し送り後にカンファレンスを行い、赤ちゃんの様子やご家族の気持ちを皆で共有し、同じ方向性でかかわることを意識しました。

赤ちゃんはただそこにいるだけで、私たちに多くのものを与えてくれます。小さくともとても力強いその生命力と、ご家族の赤ちゃんに対する深い愛情を感じたとき、NICU看護っていいなと感じます。